

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：本省 都市・地域整備局 街路交通施設課  
 担当課長名：松井 直人

事業名	都市計画道路 長溝線	事業区分	街路	事業主体	福岡県
起終点	福岡県大牟田市日出町 福岡県大牟田市明治町			延長	0.7 km
事業概要	都市計画道路長溝線は西鉄天神大牟田線、JR鹿児島本線を立体交差化（アンダー）し、市内の臨海部と中心市街地とを連結する幹線的な道路としての機能を有すると共に、踏切遮断による慢性的な交通混雑・事故を解消するものである。				
H11年度事業化	S21年度都市計画決定 (H10年度変更)	H12年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	49億円	事業進捗率	84%	供用済延長	0.3 km
計画交通量	7,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 14 / 56億円 (事業費: 14 / 56億円 維持管理費: 0.38/0.38億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 64 / 64億円 (走行時間短縮便益: 61 / 61億円 走行経費減少便益: 3.3 / 3.3億円 交通事故減少便益: 0.38/ 0.38億円)	基準年	平成20年
事業の効果等	本事業により、交通混雑の緩和及び踏切事故の解消が図られ、さらに有明海沿岸道路（健老IC）へのアクセス向上による広域交流、産業支援を促進。				
関係する地方公共団体等の意見	用地補償は完了しており、工事の実施にあたっては、地元説明会など関係自治体と協力し対応している。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業区間周辺の一般国道208号、及び主要地方道大牟田川副線では平成17年で2万台/日の交通量。主要地方道大牟田川副線では平成9年度以降交通量が増加。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地補償は完了し、本工事を鋭意継続中。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成22年度の完成供用に向けて、計画的に事業の進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等	アンダー立体構造。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	本事業箇所は、大牟田市臨海部・有明沿岸道路健老ICと中心部を連絡する幹線街路として非常に重要な道路に位置づけられており、踏切遮断により生じる交通環境の悪化を早期改善するためにも事業継続とする。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。